

マダガスカル通信

第2号



【プロフィール】

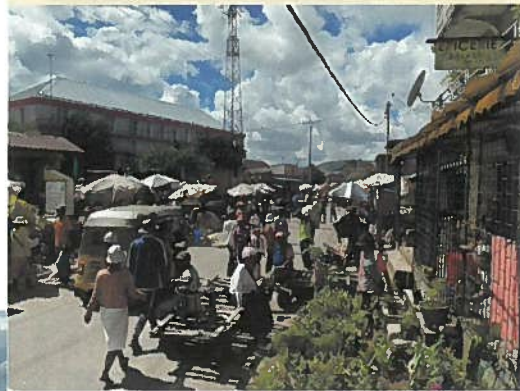
名前：道官丈晴
出身：香川県三木町
隊次：2022年度1次隊
(2022/7~2024/3)
職種：コミュニティ開発
任地：ソアヴィナンジーナ
(首都から西へ140Km)

活動内容：

大学の分校にあたる高等学院に勤務し、学生や農村住民を対象として、日本の行政施策の事業を軸として進められた農村地域開発手法である「生活改善運動」について普及するとともに日本の文化等についても紹介する。

任地について

私の任地はSoavinandriana (ソアヴィナンジーナ) で、首都のAntananarivo (アンタナナリボ) から西へ140Km、車で5時間ほどの街になります。首都とは違い、大きな建物やスーパーマーケットもない、のんびりと落ち着いた地域です。



ここに住む人たちは、気さくで親しみやすい人が多く、大人も子どもも見慣れない外国人に対して、手を振ってくれたり、話しかけてきたりします。また、街の中の移動手段はティキティキと呼ばれる三輪自動車です。毎日、このティキティキが忙しく道路を行き交う活気のある街です。

住居について

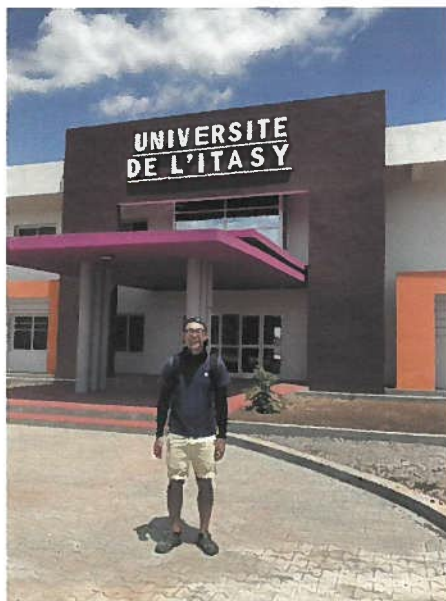
マダガスカルの中でも比較的治安の良いとされる地方都市でもスリや空き巣などの軽犯罪はとて多く、常日頃から警戒心を持って行動しなければなりません。また、私が住むアパートも様々な防犯対策が施されており、玄関から寝室に至るまでには3つの鍵付き鉄扉が設置されています。



また、電気も水道も設置されていますが、使用できることはあまりありません。毎日、貯めた水をコンロで沸かしバケツに入れ、カップですくいながら体を洗っています。

配属先と活動について

私の主な活動は、大学の分校にあたるソアヴィナンジーナ高等学院に勤務し、大学生や大学周辺の農村住民を対象として、日本の行政施策の事業を軸として進められた農村地域開発手法である「生活改善運動」の普及を目的とした授業やワークショップを実施することです。





現在、約1,800人の学生が在籍していますが、深刻な教室不足に悩まされており、急ピッチで新たな校舎等の建築が進められています。さらには、電気や水道といった公共インフラが整備されていない地域に学校が建設されているので、太陽光パネルや井戸水等による給水設備を設置して大学運営

をしており、常に電気と水不足に悩まされています。このような環境の中でも学生たちは常に向上心を持って学んでおり、感心するばかりです。

